あきしま市
# 自治連会報
自治連が裾野を支える昭島市

■発行者
小　野　正　敏

■編集
昭島市自治会連合会
広報委員会

昭島市田中町1-17-1
昭島市役所内
TEL 544－5111

1.1
平成25年
（2013年）

人と人とのコミュニケーションを深め、ふれあいと思いやりのある街づくりのために、“あいさつの輪”を広げよう。

## あいさつは　顔見て　目を見て　心見て（ハート）

（昭島市・昭島市青少年問題協議会　あいさつ運動推進標語）

## 年頭にあたって

昭島市自治会連合会
会長　小野　正敏

新しい年を迎えおめでとうございます。

本年が皆様にとって良い年であることを祈念してごあいさつ申し上げます。

▼昨年、私たちは市内の団体と連携を取りながら『地域の安全・安心まちづくり』活動の、防災・減災を重点に取り組んで参りました。

▼阪神淡路や東日本大震災等の災害では地域住民の助け合いにより、多くの命が救われました。地域による共助の大切さと、各家庭に於いては自助の基本である家具の転倒落下防止や、3日分以上の生活必需品を備蓄する必要性を訴えてきました。

▼また、「自助・近助・共助」を理解し自分たちの力とする為に、防災講演会を3回開催し、多くの自治会役員に受講いただき「自助」が防災活動の基本であること、近くの人が近くの人を助けるためには顔の見える関係づくりが大切で、災害時は隣近所で助け合い、平常時は隣近所同士の緩やか見守り活動で安否確認をし合う「近助」の重要性、自助を啓発する共助が大切等学んだことをベースに防災・減災活動を深め、安全安心まちづくり活動を続け、地域防災力の向上を図ります。

▼自治会加入促進と「自助」のレベル向上を図っていくことを目的に配布した「防災パンフレット」を活用し、しっかりした「近助」の仕組みを作るため「防災隣組」活動を試行し検証することと、3つのモデル地区でスタートした「自主防災基礎マニュアル」も各自治会と連携を取りながら、市内全域に展開してまいります。

▼自治会加入率向上の為、自治会活動を参加者にとって楽しいものに変えていくには何をなすべきか、他の地域の活動も参考にしながら検討していきます。

▼自治会区と小学校区の違いの解消等、自治連として取り組むべき課題はたくさんあります。自治会会員の方々のご理解を頂きながら、行政とも協働し一つずつ取り組んでまいりますので、皆様方のご理解とご協力をお願いいたします。

平成24年11月12日18時30分より市役所市民ホールにて開催しました。概要を報告します。

●小野会長　今回の地域懇談会は“安心・安全まちづくりについて”各自治会からの要望を、4つのテーマにまとめ、委員会別に質問させていただきます。是非、忌憚のないご意見交換をよろしくお願いいたします。

●北川市長　平成24年10月の各ブロック運動会は、皆様方が中心となって大勢の方が参加されていました。日頃からの自治会活動のご苦労に対し心より感謝申し上げたい。

昭島市は「**ともにつくる　未来につなぐ　元気都市　あきしま**」を目指し、健康で“希望と工夫と気迫”の３つのＫをもって、元気第一に努力していきたい。

防犯活動、防火防災活動など安全安心のまちづくり、また行事を通してのお互いの顔の見える絆づくりなど、地域に根差した自治会の皆様方によるご尽力なくしては、進めることはできないと考えております。

本日は地域課題について皆様方と懇談をさせていただき、地域の生活環境の改善に努め、**自治会と昭島市との連携したまちづくり**を進めてまいりたいと考えております。

＜**出席者紹介**(行政側)＞佐藤副市長／新藤副市長／木戸教育長／早川企画部長／小林総務部長／細谷学校教育部長／花松都市整備部長／山下都市計画部長／指田議会事務局長／伊東生涯学習部長／臼井水道部長／北澤会計管理者／福島都市計画部参事／村野環境部長／橋本子ども家庭部長／谷部保健福祉部長／水野市民部長

**テーマ１）野外掲示板の継続性のある補修・取り替えについて**　【広報委員会】

中島委員　自治会の広報ツールは、「**自治連ホームページ**」「**自治連会報**(年１回)」「**自治連だより**(年3回)」と「野外掲示板」の4つを駆使しての広報活動を行っております。現在55の自治会が自治連ホームページ内の各自治会のページに随時投稿しており、自治連としても１年半で情報を160回以上投稿してきました。

**掲示板の補修**等の件は、自治連の総会や自治会長研修会の際、多くの自治会から要望がありました。掲示物の多くが昭島市や関係団体の行事のお知らせです。10年前に市の予算で自治会の掲示板設置が実施されました。掲示板のアンケート調査をし、新設／取替え／補修など、要望と現状をまとめました。**継続的な取りかえと補修の支援**をお願いしたい。

次に、**掲示物はＡ3サイズまで**にしていただきたい。**回覧用チラシ**は、昭島市の広報のほうに同じ内容があるものは是非“無”でどうでしょうか。また、**回覧物は単一自治会に月末もしくは15日以前に届くように**お願いしたい。

水野市民部長　自治会の掲示板は、重要な役割を果たしていると認識しています。平成14年から3年間、各自治会に１基ずつ市から配布させていただいた。それから10年間が経って老朽化が進んでいます。**3カ年で年33基ずつ新規掲示板を補助**する形で対応と考えております。

次の掲示物のサイズは、今後とも相談させていただき関係機関に通知していきたい。

**回覧用チラシ**は、市の情報は広報でもご案内していますが、さまざまな形で周知していきたいと考えています。ぜひご理解をいただきたい。月末と15日前までには各自治会に届くようにという件については、徹底させていただきたい。

## テーマ２)災害時の避難所運営について 【防災委員会】

黒崎委員　昨年の東日本大震災以来、リーダーの育成に努め、自治連として**1年間で3回の防災研修・講演会を実施**しました。

また、自治会長や常任委員が都内や立川防災館で開催される防災の研修会等にも、積極的に受講してきました。

昭島市は、避難所別に昭島市・学校・地域の3者の合同会議も正式にありません。来年度中には**避難所別運営委員会の設置を要望**します。年度内に準備委員会の設置をお願いします。

避難時の拠点となる学校の**体育館のガラスに飛散防止フィルム**は貼られていますでしょうか。

また、地域の自治会の代表に“**避難所のかぎ**”を貸与されています。市の承認が出てから開錠となっていますがこの手順では地域が預かる必要はありません。手順の変更はありますか。

小林総務部長　**昭島市避難所運営マニュアルによって避難所運営**を図っていく計画です。発災時は、現在、**自主防災組織の震災活動マニュアル**を３エリア(戸建てと集合住宅とマンション)で自治会と今作成中です。昨年4月**東京都の被害想定の見直し**があり、**避難者数も約3倍**となり、市の地域防災計画の見直しをしております。その後、自主防災組織や自治会がどちらの避難所に避難するかの調整を図った上でこの3者による協議や検討をしていこうと考えています。

**避難所のかぎ**の件ですが、避難所施設の安全性を確認した上で避難所を開設する手順は変わっていません。今後協議をさせていただきたい。

細谷学校教育部長　**体育館の窓ガラス**は安全性に多少問題がある学校のみ平成24年12月末までに飛散防止フィルムを貼って安全を確保します。

## テーマ３)地域力、防災力向上のため、地域割りと組織体制について 【総務委員会】

大越委員　自治連は20のブロックと、99の自治会の組織で“会員の加入率の低下”と“地域の課題の取り組みの継続”が大変難しい問題で、**「地域力向上」の取り組みと仕組みづくりが急務**と考えて取り組んでおります。自治会からは、**①自治会の運営・行事に対する総合的なコンサルタントの要望、②自治会と自主防災組織の二重運営は困難、③自治会区と学校区の改善依頼**など最前線の正直な声が届いています。市内の各団体と“**地域づくり交流会**”を開催し、防災を中心に話し合いをしております。

**地域力と防災力向上のため、地域割りと組織体制についての検討と、住民が安全・安心して生活できる仕組みづくりの体制**を数年かけて、地域と行政が協働で協議できる委員会の設置を提案いたします。

水野市民部長　市では**自治会の担当部署としての生活コミュニティ課**をご活用いただきたい。

小林総務部長　自治会と自主防災組織の二重運営の難しさについては、**平常時での活動時は、現在の自治会会員の範囲内での活動**を行っていただきたい。今後、市においても非常時の活動を含めて、**近隣の自主防災組織との連携等、ひとつの自主防災組織ではなく広域的な活動体制**を検討していきたいと考えております。

細谷学校教育部長　**学区の見直し**につきましては、現在、**昭島市立学校適正規模適正配置等審議会の中で議論**をしております。24年10月に中間答申がまとまり、そこで該当校が検討され、今後最終答申をまとめていく予定です。

水野市民部長　**自治会区と学校区については今後いろいろ検討**していきたいと考えています。

**テーマ４）　多摩川と玉川上水の歩行者安全のための整備と市の道路の安全対策について**
【事業委員会】

小山委員　(1)**多摩川遊歩道・サイクリング道路**は、2m弱の道路幅しかありません。自転車のマナー向上を図り、だれもが安心して利用できるように、注意喚起の標識や通行区分帯の設置と周辺樹木整備の実現をお願いしたい。(2)市道昭島34号線の拝島農協前の交差点を北上し、拝島中西交差点までの間の**通学路の安全の確保**を要望します。

(3)**国道16号松原地区暫定4車線化**による騒音問題や交通事故の増大などの対策の為、**速度違反取り締まり機の設置**を要望します。

(4)**市道北103号の玉川上水の歩道**のウッドチップ舗装を実施されたが今後の工事予定を教えてほしい。幹線道路や通学道路の危険箇所がたくさん存在しております。ご検討を是非よろしくお願いいたします。

花松都市整備部長　(1)**多摩川遊歩道・サイクリング道路**の共存の為の注意喚起の標識の路面表示を拝島橋から上のほうに施工予定。樹木の剪定は河川事務所に要望をして実施したい。

多摩川の沿線の市町村でつくっております会議で、問題提起していきます。

(2)**通学路の安全対策**について、路側帯にある電柱の移設は東電へ要請をしてまいります。

自動車運転者へ必要以上の路側帯進入を、視覚的に整理をさせるための緑色のカラー舗装を、実施してまいります。

(3)国道16号の松原地区の速度違反取り締まり機(オービス)設置については、市長名で昭島警察署に出し、本庁へ要望することになりました。

以上で4つのテーマの意見交換は終了し、参加者から関連事項の幾つかの質問を受けました。最後に小野自治連会長と北川市長からまとめの挨拶があり、20時30分に終了しました。

●小野会長　今日は本当にありがとうございました。従来の地域懇談会と違いまして、今日は非常に**ポジティブな回答**を行政の方々からいただきました。感謝申し上げます。

●北川市長　どうもありがとうございました。**ご熱心なご議論とやご意見を拝聴できました**。大変ありがたく思っております。

これからも折を見て、このような地域懇談会の開催、ご要望や重要な課題がございましたら、ご意見をお寄せいただければ幸いに存じます。

今日は大変皆様方には、ご熱心にご議論を賜りまして、心から感謝申し上げますと同時に、これから安全安心を第一に、元気都市あきしまを構築してまいりたいと存じます。自治会の皆様のご協力、宜しくお願いいたします。

## ～1月の主な行事～

■昭島のあすを創る協議会(自治連共催)の

### 家庭用品バザーを開催

日時：１月27日(日)9時半～
会場：市役所・１階ロビー
★お願い：各自治会でバザー用品を募っています。ご協力お願いいたします。

■ウイズユース主催の

### 凧揚げ大会を開催

１月20日(日)午前中に多摩川の河川敷や小・中学校のグランド等で実施されます。

7/26：昭島市老人クラブ連合会

7/28：昭島市民生委員児童委員協議会

9/26：昭島市公立小学校校長会

10/18：昭島市消防団

市内の各種団体と“防災”を中心に

## 地域づくり交流会を開催！

平成24年度、新たな取り組みとして市内の各種団体の皆様と防災を中心に、地域の活性化と問題意識の共有をめざして、「地域づくり交流会」を開催しています。

10/22：昭島市公立中学校校長会

12/17：昭島交通安全協会

12/17：昭島防犯協会

# ■防災リーダー研修会の連続開催！

## ～「自らの生命は自らが守る」＆「自分たちのまちは自分たちで守る」～

### その❶　講師：山村武彦氏（防災システム研究所・所長）

平成24年2月11日(土)午前中、昭島市民会館にて実施しました。講師に「近助の精神・防災隣組」の提唱者の山村武彦氏。テーマは『自主防災組織はイザの時の為に、平常時に何をすべきか』サブタイトルは～『近助の精神』が、地域の絆のキーワード～で、北川市長、小野自治連の会長の挨拶で始まりました。

山村武彦氏からは、①東日本大震災の教訓を踏まえた防災・危機管理／７つのポイント、②逃げ遅れないための認知心理バイアス、③自分と家族を守る平時の心構え、④「自主防災組織」と「近助の精神」が地域の絆でした。

**自分や家族の命は自分たちで守ることです。元気なうちは助ける人に、高齢になって体が不自由になって、いずれ助けられる人になる。誰でもが元気なうちは助ける人に、立ち位置を変えることです。揺れを感じたら、直ちに安全ゾーン(転倒落下物の少ない閉じ込められない場所)に移動することが大事です。火が出たときの優先行動は、知らせる→消す→助ける→逃げる！です。**

### その❷　講師：山崎晴雄氏（公立大学法人首都大学東京・教授）

平成24年7月18日(水)午前中、昭島市市民交流センターにて自治会長研修会の第2部で実施しました。

講師に立川断層の著名な山崎晴雄氏。テーマは『立川断層って危ないのか？－地震を知り正しく恐れよう－』で、立川断層は将来、必ず大地震を起こす。直下地震も／いつ活動するか不明／不安解消には地震や活断層の知識を増やし、誤解や風評を排除することが大切／立川断層は周期や最終活動時期、横ずれかあるいは逆断層かなど解決困難な問題が残っている／武蔵野台地は地盤が良く関東大震災の被害は小さかった。しかし、現在は周辺環境が当時とは大きく異なっている／**本当に恐ろしいのは、断層のずれではなく”火災と崖崩れ”／火災に対する防火・延焼防止対策、都市の不燃化対策が必要／脅しの防災から理解する防災へ。危険を知り冷静に対応することが大事です。**

### その❸　講師：吉川忠寛氏（防災都市計画研究所・所長）

平成24年10月6日(土)午前中、吉川忠寛氏を講師とし、昭島市民会館大ホールにて実施。初めに小野自治連会長、北川昭島市長から挨拶がありました。テーマは『多摩直下地震に備える　自助・共助の課題』、副題「災害後の“生活継続”のために何をすべきか？」で、研修は「一瞬の判断・動作が生死を分ける／多摩直下地震における被害の連鎖／自主防災組織の活動と課題／災害時要援護者の先進事例／マンション防災と自助・共助の課題／“生活継続”のための、共助の課題」等の内容で、最後に**『自助を啓発する共助が大切！』**との共助の取り組みへのアドバイスもありました。

## ■自治連役員研修会を実施『東京臨海広域防災公園』視察！

平成24年10月24日(水)に『東京臨海広域防災公園』のそなエリア(防災体験学習施設)と『東京都廃棄物埋立処分場』の中央防波堤内側ごみ処理施設を視察しました。

“そなエリア”は、首都直下型地震の発生から避難までを、端末器を使ってクイズに答えながら、地震発生後の72時間を生き抜く知恵を学ぶツアーを体験し、震災のアニメを見ました。その後、世界の防災用品や各種防災ゲームが展示されている「防災ギャラリー」も視察しました。

## ■防災パンフレットを作成

平成24年10月、会員の加入促進と防災・減災を目的にパンフレット(A3サイズ裏表)を作成し、自治会会員の皆様にお届けしました。市内の小・中学生の皆様にもお届けすることができました。

各家庭で“チェックリスト”を使って備えを進めましょう。

**～昭島市民くじら祭の際、自治連役員にて“自治会加入”のアピールをしました～**

## ■地域の連帯による“防災隣組”の取り組み

都では、地域防災力の向上を推進するため、大都市東京ならではの共助の仕組みづくりとして防災隣組の構築を進めています。

地域の防災力強化は行政、自治会(自主防災組織)の役員だけが行うのではなく、住民一人一人が危機管理意識を共有することが重要です。そのためにも住民全員参加の防災訓練等が重要になってきました。

「みんなでできるだけ頑張りましょう」でなく、「災害時、死者ゼロを目指す」ため、安否確認の方法を含めた『防災隣組』の構築に、いくつかの自治会でも取り組みが始まりました。

# 自治連のホームページリニューアルしました！

昭島市自治連　検索

http://www.akishima-jichiren.jp/

昭島市自治会連合会のホームページがスタートして１年10か月。
常任委員会の会議内容や各種活動を数日以内に160回以上投稿してきました。
この度”防災・減災活動”を中心に東京都の補助金を活用し更新しました。現在55の自治会が専用のページに投稿しています。　今後とも、＜地域の安全安心まちづくりの発信基地！＞の役割を果たしてまいります。

■この2年間の防災・減災の取り組みと、各地の防災マニュアルも紹介 New

■昭島市のことが学べます。
・なぜ昭島の水は美味しいのか？
・アキシマクジラって何？

■単一自治会別のページです
投稿準備中や検討中もあり
順次始まっていきます！

まだ未投稿の自治会は、是非はじめましょう！随時開始の対応が可能です！

※ブログ担当者と自治会の写真1枚ご用意ください。この“お問合わせ”から連絡お待ちしております。

※このホームページへのお問合わせもここからできます。

■自治会の運営に役立つハンドブック第2次改訂版のPDFで掲載！是非、自治会役員の皆様は、お読みください

New
■東京アメッシュにすぐリンクできます
昭島市のピンポイント天気予測にし、週間も見れるようにしました。

★平成24年11月、このサイトを閲覧した地域別ベストテンを紹介いたします。
1位）新宿、2位）昭島市、3位）港区、4位）千代田区、5位）渋谷区、
6位）中央区、7位）福生市、8位）日野市、9位）立川市、10位）府中市

## ★わが地域の一押し店★広告募集中！

※このホームページは『東京都地域の底力再生事業』の助成金制度を活用し作成しました。
また、運営費はバナー広告･一押し店広告先の皆様に協力していただいております。